ふっさ 広報

市の鳥・シジュウカラ

FUSSA

ホームページ http://www.city.fussa.tokyo.jp/

平成24年(2012年)
2月1日　No. 848

発行/福生市　編集/企画財政部秘書広報課
〒197-8501 福生市本町5
☎042-551-1511（市役所代表）
毎月1日・15日発行

▼福生市2月の主なイベント▼

4日(土)	福生市伝統文化発表会
11日(祝)～	郷土資料室特別展示「明治時代の錦絵-周延が描いた江戸-」
25日(土)	第20回男女共同参画フォーラム「介護を考える」

今号の主な記事

2面緊急雇用対策臨時職員募集　4面ふっさ環境フェスティバル出展者・実行委員募集　5面都営住宅入居者募集
6面ご存じですか?病後児保育　7面福生市伝統文化発表会のお知らせ　8面男女共同参画フォーラム「介護を考える」

郷土資料室特別展示
「明治時代の錦絵 -周延が描いた江戸-」

昨年度開催した特別展示に続き、石川家の寄託資料にある浮世絵の中から、浮世絵師楊洲周延（ようしゅうちかのぶ）の作品を中心とする、明治時代の錦絵等約100点を展示します。

江戸時代には他言厳禁であった江戸城での生活や行事を、明治20年代半ばになって描いた「千代田之大奥」など、華やかで美しく活気あふれる錦絵をお楽しみください。

期間 2月11日(祝)～4月15日(日)
時間 午前10時～午後5時
休館日 月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日）
問合せ 郷土資料室☎530・1120

千代田之大奥 婚礼　明治29年(1896) 周延
江戸時代の江戸城で行なわれた婚礼のようすを描いた大判五枚続きの見事な錦絵。

千代田之御表 武術上覧　明治30年(1897) 周延
日ごろの鍛錬の成果を、将軍が上覧しているようすを描いた錦絵。

期間中の催し物

●特別展示記念講演
「浮世絵の歴史と周延」
日時 2月19日(日)午後2時～

●特別展関連講座(全2回)
①「初期浮世絵の世界-錦絵誕生以前-」
②「百花繚乱の江戸後期-多様化する浮世絵-」
日時 ①3月11日(日)午後2時～
②3月18日(日)午後2時～
講師 安田吉人氏（東京学芸大学非常勤講師）
場所 中央図書館2階
定員 各回先着50人
申込み 2月7日(火)から電話で郷土資料室へ。

江戸錦 御弾初め余興　明治36年(1903) 周延
御弾初めは、その年初めて楽器を弾くこと、また新しい楽器を初めて弾くことをいう。この錦絵は、御弾初めの後に行なわれた余興のようすが描かれている。

千代田之御表 上野御成　明治30年(1897) 周延
将軍が将軍家の墓所である東叡山寛永寺を、墓参のために訪れる行列を描いた大判六枚続きの豪華な錦絵。

市政情報配信サービス「ふっさ情報メール」をご利用ください

携帯電話やパソコンのメール機能を活用し、あらかじめ登録していただいた利用者のパソコンや携帯電話にメールで市からのお知らせや各種イベント情報など、生活に役立つ情報を配信しています。

携帯電話やパソコンからインターネット接続により登録いただけますので、ぜひご利用ください。

配信するメールの種別
◆防犯・防災情報◆観光・イベント情報
◆環境・気象情報◆健康情報◆子育て情報
◆その他の市政情報

登録方法
①登録用のＱＲコードを読み取って登録ページにアクセスし、注意事項に承諾いただいたうえ、空メール（題名や本文の入力不要）を送信します。
②登録用のＵＲＬが記載されたメールが返信されますので、ＵＲＬにアクセスしてください。
③配信を希望するメールのカテゴリを選び、送信をクリックしてください。
④登録完了のお知らせメールが届きます。
※迷惑メール防止の設定をしている方は、設定を解除するか「ｆｕｓｓａｍａｉｌ@ｃｉｔｙ.ｆｕｓｓａ.ｔｏｋｙｏ.ｊｐ」からのメール受信が可能になるように設定してください。また、パソコンからの登録方法は市ホームページの「ふっさ情報メール」のページをご覧ください。

登録用ＱＲコード

問合せ 秘書広報課広報広聴係☎551・1529

郷土資料室その他のイベント

■小学生わくわく土曜日ワークショップ
「はし袋をつくろう」

紙を折ってはし袋を作ります。

日時 2月18日(土)午前10時～午後3時（正午～午後1時は除きます。）※直接、郷土資料室においでください。

全力投球

福生市長 加藤育男

明るく強く

つい先日、新聞等でプロ野球元読売巨人軍中畑清氏の横浜ＤｅＮＡベイスターズの監督就任が発表されました。

11月1日号の「全力投球」でも書きましたが、中畑氏には昨年の七夕まつりで被災地支援イベントにご協力いただき、一緒に仙台市に義援金を届けてきました。大学時代から野球という競技を通じて彼のことをよく知っているつもりでしたが、長い歳月を経て再会してみると、側にいるだけでまわりの人を楽しくさせるような明るいキャラクターに感心させられます。奥山恵美子仙台市長は、「中畑さんの奥様がうらやましい。家庭内はいつも笑いが絶えないのでしょうね。」と話されていました。

中畑氏の奥様のお話では、「あの明るさは本人がかなり努力している。野球界は毎日結果がはっきり出る仕事だから、自分で演出した明るさで、自分自身を奮い立たせている。本当の中畑には、実はもっと神経質にこだわる面もある。考えたその後で、明るく切り替えて行くようだ。」とのことでした。なかなかできることではないと思います。

復興に向けて取り組む奥山市長の明るい笑顔からも強さを感じました。

常に明るい気持ちでいるのは大変なことです。しかし、それがまわりの人を楽しく、そして自分自身を強くしてくれると思って、私も前向きな笑顔でいたいと思います。

ＳＰコード専用読取装置で、コードの文字情報を音声で聞くことができます。問合せ 秘書広報課広報広聴係☎551・1529